

令和元年度「夏休み子ども科学研究室」を開催しました

小学生を対象に「夏休み子ども科学研究室～身近な環境を科学しよう！～」を開催したところ、18名の参加があり、①身近な水の性質を調べよう、②紫外線の強さを調べようの2つの実験を通して、身近な環境問題とその対策について学習しました。

- ・ 日 時 令和元年7月30日（火）9:00～12:00
- ・ 場 所 富山県環境科学センター講堂
- ・ 参加者 18名
- ・ 内 容

【身近な水の性質を調べよう】

ブルーベリーやハーブティーの抽出液が pH で色が変化することを利用して、身近な水の pH や比重を調べ、水環境を守る仕組みについて学びました。



【紫外線の強さを調べよう】

紫外線を確認できるストラップやしおりを作って紫外線の強さを調べ、紫外線の働きや大気汚染との関係について学びました。



【児童の感想（一部）】

- ・ 紫外線のしくみや pH などがわかってよかったです。
- ・ ブルーベリーやハーブティーを使って身近な水を調べようという課題で色が変わったところが楽しかったです。
- ・ 私たちの身近にある水や紫外線について知れてとても良かったです。しかも、しおりやストラップも作れたので、これからの夏、ストラップやしおりを見て紫外線の強さなどを調べたりしたいと思います。